たいわ なん がっ にもはっこう だい ごう 令和6年2月19日発行 第12号

游谷の荘だより

「今を生き 未来を担え 渋中生」

やまとしりつしぶやちゅうがっこう大和市立渋谷中学校



渋中花壇 春を告げるノースポール

学年末試験が始まり、生徒たちは一年間のまとめの時期となりました。テストの結果を鑑みながら生徒たちは今年度を振り返り、来年度に向けて何をしようか考えるのではないでしょうか。それぞれの未来に向けてじつくりと考え、前進して欲しいと思っております。学校では前したな言葉がけに心がけ、一人一人の生徒を温かく見守っていきたいと思っております。

2月の朝会にて 校長講話

ラんじょうそうてん 雲上蒼天』

うちょう しみず たかし 校長 清水 恭

みなさん、おはようございます。このところとても寒くなり、今日は午後から雪になると言われています。今日の帰りと、明日の朝は十分に注意して登下校をしてください。いつも以上に周りをよく見て安全に歩くことが必要です。自分が気をつけていても、足元を滑らせた人や車が自分に向かってくるかもしれません。登下校時の安全にいつも以上に留意してください。

さて、先日 | 年生の書道作品を眺めていたら、| 年生の生徒が話しかけてくれました。「校長先生も書いてみてください」と言われたので、私の好きな言葉を書いてきました。これは『雲上に蒼天あり』という言葉です。人は何か行き詰った時や、心配なことがあるときに、今日のような天候に例えて『暗雲が立ち込める』などと言います。『雲上蒼天』という言葉は、どんなに厚く雲が立ち込めていて



も、そこを突き抜けていけばいつでもきれいな情い空が広がっているという言葉です。ここから「年生、 2年生は学年の総仕上げです。3年生は中学校生活の総仕上げです。卒業やそのあとの新しい進路に向けて取り組んでいきます。何度も言いますが、我々教職員は全員皆さんの味方です。いつでも皆さんを応援しています。一緒に青い空が見られるよう、頑張りましょう。

こくさいこうりゅうかい お 国際交流会を終えて



こくさいきょうしつたんとう うるしばらひでひろ 国際教室担当 漆原秀弘



がっ にち こくさいこうりゅうかい かいさい 1月23日に国際交流会を開催しました。

日頃、お世話になっている指導員の先生方へのお礼をメインとする会です。また、生徒それぞれが自分とルーツのある国について調べたことを発表しました。

| 年生は、初めての国際交流会で、緊張した様子でも懸命に発表をしていました。2年生は、事前の取り組みや発表内容に発表をしていました。2年生は、事前の取り組みや発表内容に昨年との違いがあり、成長を実感しました。そして、3年生は、受験関係のため練習なしでもそれを感じさせない見事なスピーチで発表をする生徒や交流会中に高校の合格発表があり、みんなからその場で祝福される生徒がいたりと大変有意義な国際交流会となりました。

国際交流会 プログラム

- 1. はじめの ことば
- 2. スピーチ
- 3. 3ねんせいに おくる ことば
- 4. おれいの ことば
- 5. ゲーム「ぼうずめくり」
- 6. しゃしん さつえい















